

議 事 録

- 1 会議名 平成28年 第2回さぬき市市民憲章策定委員会
- 2 日時 平成28年7月13日(水) 13:30~16:00
- 3 場所 さぬき市役所3階 302会議室
- 4 出席者 (出席委員)
越智委員 金岡委員 木村委員 谷委員 名越委員
平野委員 福家委員 六車委員 元山委員 山本委員
(市)
総務部政策課 白井課長 津村副主幹 大生副主幹
- 5 傍聴者 なし
- 6 会議次第 1開会
2市民憲章文案の検討について
3閉会

7 議事の経過及び発言要旨

＜ 開 会 ＞ (13:30)	
事務局	<p>第2回さぬき市市民憲章策定委員会を開会いたします。本日はご多忙のなかご出席いただきありがとうございます。最初に名越委員長からご挨拶をお願いします。</p> <p>＜委員長挨拶＞</p>
事務局	<p>以後の進行については、委員長をお願いします。</p>
委員長	<p>議題1「市民憲章文案の検討について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>＜事務局説明＞</p>
委員長	<p>広報等で意見を募ったものを事務局が資料にまとめています。応募は少なかったですが貴重な意見です。本文については総合計画の基本項目にそって分けていますので、前文との整合性を考えながら皆さんに意見を出していただきたい。</p>
委員	<p>応募作品を中心に話を進めていくのか。</p>
委員長	<p>これが全てではない。応募作品を土台とし、委員さんの意見を聞きながら積み上げていく。本日にきちんとしたものはないと思うが、核になるものが何であるか考えましょう。他市の本文を参考にしても3~5点ぐらいが目安だと思いますので、これは外せないというものから発言をお願いします。</p>
委員	<p>総合計画を踏まえた上で市民憲章を作るのか、それとも基本的には別物なので分けて考えてもよいのか。</p>
事務局	<p>いけないことはないが、総合計画が柱になっていた方が伝えやすい。</p>

委員	「6つの基本目標」が市民憲章の本文のようにになっているが、これを踏まえて考えるのか。
事務局	総合計画は市全体としての目標であり、市民憲章は市民一人一人が日頃心掛けるものである。口ずさめるくらいの親しみやすさがあつた方がよい。ある程度共通する部分もあり、違う側面もあると感じている。
委員	<p>他市町の市民憲章も見たが、どこのまちにもあてはまるものが多い。実際原案を書いてみたが難しい。</p> <p>前文は短く簡潔な方がよい。私は「新しい創造の場を生み出していくため、ここに市民憲章を定めます」と軽くまとめた。</p> <p>さぬき市は日本創生会議では消滅都市とされており、子どもを産み育てていく年代が少ない。今後どうしていくかになると移住や企業誘致による地域や産業の活性化が考えられるが、企業誘致は今後、ますます難しくなっていくと思う。</p> <p>先日、まちの活性化のための講演とシンポジウムがあつた。そこで講師は、「これからは企業誘致だけではダメですよ」とはっきりおっしゃっていた。</p> <p>土地を用意しても大企業はロボット化しているため、地元の採用は僅か40名しかなかったとのことである。</p> <p>これからは観光面やグルメが大事ですよと言っていた。</p> <p>本市で言えば、平賀源内さんを核に地方活性化をしようとしている面があるが、さぬき市に来なければ食べられないというものでなければ、絶対にリピーターは来ないし、若い人は来ないと断言された。</p> <p>源内さんの名前だけでなく、志度でなければ食べられない、大窪寺でなければ食べられないというものでなければ誰も来なくなりますよという警告でした。観光を含めて根本的に見直さなければ消滅都市となってしまう。</p> <p>本文は総合計画を踏まえ、倒置法にしました。唱えると説得力があるようで歯切れがよい。第3条に“働く人々に力を”という言葉を入れたのは、私たちの世代と違って、今の子育て世代は、いただく収入と出ていくものを比べたらマイナスになる上、親の介護もあり大変である。そのためあえて入れましたが、異質なので審議いただいたらと思います。</p>
委員長	他の文章と違っているなと思ったが、倒置法はわかりやすいと思います。
委員	唱えてみて、簡潔明瞭なものがよいと思います。
委員	消滅自治体から逃れるため人口の流入と流出の差をどうするか。どうすれば若い世代に興味を持って、リピーターとしてさぬき市に来てもらうか。企業勤めしていた者からすると、どういったことを重点に、目標を達成するかという観点で物事をとらえてしまうが、スローガンを決めればよいという話なのか。
事務局	<p>企業や役所も同じだと思うが、目標やスローガンにすると、人にしてもらおう、させようという感じが出てくる。市民憲章は簡潔明瞭で、唱えて違和感がなく、日常皆さんが心掛けたいというのが言葉にできればいいと思っている。</p> <p>スローガンのになると押し付けになってもいけないし、誰が見ても納得できる内容になればいいと考えている。</p>
委員	目標的なものは。
事務局	昔ながらの市民憲章もあるなか、今の時代に合った要素を入れることができればいい

	<p>いと思っている。</p>
事務局	<p>総合計画冊子の44ページ「みんなでお接待の心を持って推進していこう」とあるが、人口が減少しているなか、人口を保ちながら安心安全な暮らしをするため、市はこのようなことを行い、市民にはこういうことをしてほしいという思いがあったからこその市民憲章になります。2060年に目標人口3万2,000人であるようみんなで盛り上げていく。</p> <p>暮らしやすいまちをつくるための姿勢を市民憲章に盛り込んでいく。具体的に言えば、市民にこういうことをしてほしいという内容を基本目標の中に書いています。例えば48ページ、「市民は、市内での購買に努めます」というような、一緒に取り組みましょうというお願いが書かれています。それをもっと分かりやすく浸透させるための市民憲章を作るという意味合いで目標と一緒に持っているをご理解いただければと思います。</p>
委員	<p>募集作品の前文について意見を言うことはできるが、自分から発想を述べて理想的なものを作るとなると難しい。</p>
委員	<p>観光PRではないので、前文ではさぬき市の特徴を述べただけではいけない。</p>
委員	<p>前文の中にさぬき市の大きな特徴である“四国遍路”を入れてはどうか。</p>
事務局	<p>前文が長々となるのはよくないが、さぬき市としての特徴、他にはないところを入れるのはいいと思います。10年前くらいに「さぬき市まちづくり基本条例」を作り、その時も策定委員会で前文を作った。憲法と一緒に前文に力を入れることで内容に色合いを持たせるという形をとっている。市民憲章は本文に重きを置くべきなので、一応参考までに資料を用意しました。四国遍路の説明は長いので、「お遍路さんを育んだお接待の風土」等短い言葉を選んでもらってどこかに入れることができればと思います。</p>
委員長	<p>“四国遍路”や“平賀源内”等絶対に入れたいというキーワードをあげてください。</p>
委員	<p>“歴史のまち”と言うより、“四国遍路”や“平賀源内”と言った方がわかりやすいですね。</p>
委員長	<p>四国遍路が世界遺産になろうかというところなので、入れるのもいいですね。他にキーワードはないですか。</p>
事務局	<p>「さぬき市まちづくり基本条例」の初めの3行がさぬき市の紹介的な部分になっており、考えているものに近いと思います。</p>
委員	<p>全国的に有名な平賀源内やこの小さいまちに四国八十八ヵ所のお寺が3つもあるのはすばらしいことだと思うので、それを大事にしていく心が大切だと思います。</p>
委員	<p>心が希薄になったり、近所付き合いがなくなってきたりしているので、四国遍路のなかの“お接待の心を育てる”という言葉を上手に使って、まちづくり・自治会活動・教育・福祉の面で“心を育てる”というキーワードが入ればと思います。</p>
事務局	<p>市民憲章なので、対外的にアピールする必要は全くない。さぬき市民としてのアイデンティティを特徴付けるとしたら“お接待の心”をみんなが意識して持つというの</p>

	<p>は大事なことかと思う。そのあたりの文言をうまく取り入れたら特徴付いたものになるのではと思います。</p>
委員長	<p>接待も思いやりの心もあるということですね。 他にはありませんか。</p>
委員	<p>「さぬき市まちづくり基本条例」の最初の言葉を参考に練ってはどうか。</p>
委員長	<p>基本条例の前文の3行から考えてはどうかという意見ですが、よろしいですか。</p>
事務局	<p>条例の最初の3行はまちのイメージであり、3段落目を参考にした方がいいのでは。最初の3行を基にすると後の本文に繋がっていかないのではないかと思う。</p>
事務局	<p>最初の3行はお遍路さんのエッセンスを入れるための参考であり、ここで終止してはおかしくなる。</p>
委員	<p>市民憲章の目標である親しみやすさや印象深さが必要である。</p>
委員	<p>地方創生のからみから言うと、市民がさぬき市の特徴や良さを認識することが大事である。年齢や男女を問わずどんな価値をつけていくかである。そのために観光や文化がある。例えば「志度には、フィッシャーマンズワーフのように牡蠣やしらす丼が食べられる店が並んでいる」や「遍路道を通して観光と体力と森林浴を兼ねたコースがある」等思い切ったことを考えなくては消滅都市を免れないと思う。市民は消滅すると聞いても深刻にとらえていない。 市民憲章を定めるにあたり、さぬき市の良さに気づいてどう活性化していくか、私たち市民はどんな心構えでどんな風にまちづくりを目指したらよいかである。</p>
委員長	<p>前文をまとめていきましょうか。それとも前文は形の考え方のみで、本文を少し話し合いますか。</p>
委員	<p>出された方には大変失礼ではあるが、消去法でいくと審議がしやすい。消去法でいくと作品1と3がいいと思う。</p>
委員	<p>“お接待の心”等よい言葉は抜き出し、新しい本文に組み込んでいくという方法もできると思う。</p>
委員	<p>作品3の前文を生かすとすれば“悠久の歴史”は抽象的であるので、“お接待の心”に変えるとさぬき市の特徴が出るのでは。</p>
委員	<p>“お接待の心”という言葉は若い世代にはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>東京オリンピックで言うところの“おもてなし”ですね。時代を問わずあります。お接待という言い方が四国遍路だけで使っているかどうかかわからないが、特徴的な言い方であると思う。</p>
委員	<p>“お接待の心”より“思いやり”という言葉の方がわかりやすいのでは。</p>
委員	<p>作品5は何人もの人が考えてくれているので、切り捨てずに審議いただきたい。</p>
委員	<p>この中でどれを生かすかは審議すればいい。</p>

委員長	どの作品も随所に似た言葉があります。 作品1と3を軸に考えるとして、変えたほうがよいところはありますか。
委員	内容についてはどちらもよく練っていると思います。本文の書き方ですが、インパクトもあり心に入ってくる「倒置法」にするのか、「ですます調」にするのか、それによって言葉も変わってくるのではないかと思います。 <休憩>
委員長	一文ずつ検討していきますか。 私の意見ですが、作品1の本文に「健全な心身と思いやりを」とあるが、心の問題も入っていていいと思います。「安全で安心なまちづくりを」は作品6にも「安心して子育てができる町」のように似た文章があり、最近の大きな問題でもあるので、残したらいいと思います。
委員	従来考えられない事件・事故が増えており、さぬき市を終の棲家として考えてもらいたいという願いをこめて「安全で安心なまちづくりを」を入れたいと思います。
委員長	大事なことだと思います。 項目ごとに見ていただいて、残したいものをおっしゃってください。
委員	作品3前文「健康で自立する市」とありますが、合併当初は総合計画のスローガンが「自立する都市」であったが、10年経ちさぬき市のスローガンも変わってきているので言い方を変えた方がいいですね。
委員	次世代を担うのは子どもであるので、今ある文章「めざそう いきいきと暮らせるまちを」の中に、“子育て”も含まれているとわかるような言葉を入れてほしいと思います。
委員	文頭に“誰もが”という言葉を入れませんか。バランスを考えながら、少しずつ言葉を足してはどうでしょうか。
事務局	“笑顔”という言葉を入れてみてはどうでしょうか。作品5の中の「笑顔あふれるさぬき市」を倒置法に置き換え、「つくろう こどもの笑顔があふれるまちを」ではどうですか。子育てをまちで応援しています、子どもはまちの宝ですというものがあってもいいと思います。
委員	少子高齢化の時代ですからね。
委員長	“こども”という言葉が一つあってもいいですね。
委員	一つ本文を入れ替えるか、前文に、これからの将来を考え“こどもが育つまち”という言葉を持っていくこともできますね。
事務局	前文に、「さぬき市民が“いきいきと暮らせるまち”にするため制定します」と入れることもできると思います。
委員長	意見をどんどん出してください。

委員	作品5の中に、環境面で「ごみのない清潔な町さぬき市」という言葉があるが、さぬき市を特徴付けるのに凄くいい言葉なので、入れてみてはどうでしょうか。
事務局	作品3の中に「自然を愛し、環境を守ります」とあり、以前開いた「子ども未来会議」では子どもたちから、「気づいたらごみを拾う」という意見があった。ただ、市民憲章に“ごみ”という言葉が出てくるのは議論の対象なのかなと考え、例えば「まもろう 美しく清潔なまちなみを」というイメージはどうでしょうか。“まちなみ”を“自然”という言葉に置き換えてもいいし、子どもたちのごみ拾いや歴史文化を感じるとするなら“まちなみ”の方がいいかもしれません。
委員	具体的に言うか、抽象的に言うかということですね。
委員	作品1の前文「新しい創造の場を生み出していくため」ですが、意味を説明しなければわからない文章なので、事務局から提案いただいた「子どもの笑顔があふれるまちをめざすため」という言葉に変えた方がいいと思います。
委員	わかりやすいということも大事ですね。
委員	総合計画の「まちの将来像」のなかに「自然豊かでいきいき 笑顔あふれて快適に みんなで暮らす ふるさとさぬき」とあり、「笑顔があふれるまち」を入れることに賛成である。
委員長	作品1の前文を置き換えるという意見が出ていますが、“子ども”という言葉はどうしますか。
委員	“子ども”という言葉を入れなくても“みんな”笑顔という解釈でいいのではないかな。
事務局	“子どもの笑顔”という言葉が象徴としてあった方がいいですね。“子ども”という言葉を入れたいという意見もありますし、子どもが笑っているときに難しい顔をすることは想像しにくい。
委員	子どもが笑顔になると、親もおじいちゃんおばあちゃんもみんな笑顔になれると思います。
事務局	“みんな”とか“子どもからお年寄りまで”と書くと書きすぎになるので“子どもの笑顔”だけで十分だと思います。
委員	最終的には軸を練ったらいいと思います。
委員長	子どもは（括弧）付けでとりあえず入れておきます。 「市民協働による新しいまちづくりを」についてはどうですか。
委員	言い方をもう少し検討しなくてはいけない。
事務局	最近よく使われる言葉に“自助”、“公助”、“共助”があり、防災面で使われています。
委員	作品3は全部を総括したような抽象的な表現になっており、どこのまちにもあては

	<p>まるように思える。先程の意見にもあった具体的に本市の特徴を生かすため、どのようにミックスするかですね。</p>
委員	<p>前文は短くなくてはいけないのですか。</p>
委員	<p>主旨から言えば短い方がよい。</p>
委員	<p>説明しないと伝わらないような文であれば、ある程度長くても意味が分かる方がよいのではないか。</p>
事務局	<p>程度の問題ですね。</p>
委員	<p>本市の市民憲章には、さぬき市の特徴が一言でも入っているものにしたい。</p>
委員	<p>今から作るので、みんなの目に留まったり、心に残ったりするものになるよう、どこを目指しているのかははっきりさせている方がいいと思う。</p>
委員	<p>何かの機会に復唱するくらいの値打ちのあるものにしたい。</p>
委員長	<p>本日のまとめとしては一応案が見つかり、前文は作品1で考え“(子どもの)笑顔あふれるまち”を盛り込む。本文では候補に挙げたものをわかりやすい言葉に置き換える。次回までに事務局でまとめていただく。</p>
事務局	<p>いろいろな意見が出たが、整理すれば、まあまあものができるところまでいっていると思う。事務局の方で整理し、もう一段階進んだ草案的な形のを次回の会までに送付し、事前に意見をいただく。意見を整理した後会議を開かせていただく。9月の頭には会が開けると思います。</p> <p>その後3回目の会議で、パブリックコメントをここまで手直しして出そうということまで持っていきたい。パブリックコメントは、最低1カ月は期間を設けるよう事務手続きが改まっているので、時間が必要となります。ご都合はいかがでしょうか。</p> <p><次回会議までのスケジュールと日程調整></p>
委員長	<p>次回会議は9月7日(水) 13:30から行います。</p>
委員長	<p>これで第2回さぬき市市民憲章策定委員会を閉会します。 ご協力ありがとうございました。</p>
	<p><16:00 閉会></p>